

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第35週の発生動向

トピックス

・**新型コロナウイルス感染症**(指定感染症)の報告が12例あった。第34週目までの届出は346例であり、届出総数は358例となった。

全数報告の感染症 (35週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核3例。3類感染症：報告なし。
4類感染症：日本紅斑熱1例。5類感染症：報告なし。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	40歳代	男	無症状病原体保有者	—
			80歳代	男	肺結核	発熱
			90歳代	男	肺結核	—
4類	日本紅斑熱	日南	80歳代	男	—	発熱、発疹、肝機能異常

指定感染症 (35週までに新たに届出のあったもの)

疾患名	報告保健所	報告数	年齢群							症状		
			10歳未満	10歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代		80歳代	90歳代
新型コロナウイルス感染症	宮崎市	3例	1					2				発熱、咳、倦怠感、咽頭痛等
	都城	5例		2		1				2		
	日向	2例			1		1					
	中央	2例							1		1	

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は271人(定点当たり7.5)で、前週比83%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は感染性胃腸炎で、減少した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎とヘルパンギーナであった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

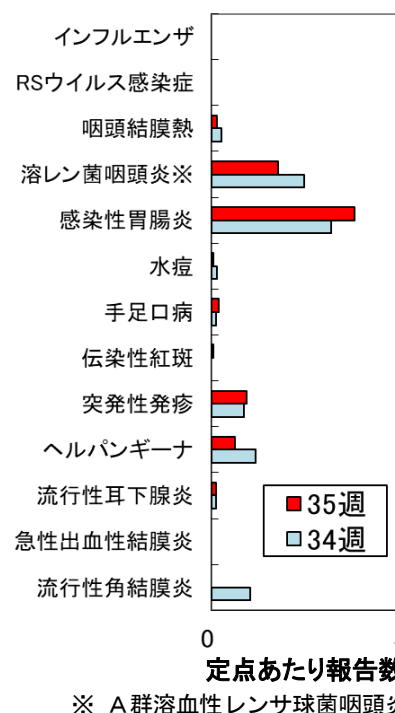
報告数は62人(1.7)で、前週比71%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.3)の約1.4倍であった。日南(4.0)、宮崎市、延岡(3.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は2~5歳が全体の約半数を占めた。

【感染性胃腸炎】

報告数は134人(3.7)で、前週比120%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(6.8)の約0.6倍であった。小林(7.0)、都城(5.2)、日南(5.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は1~2歳が全体の約3割を占めた。

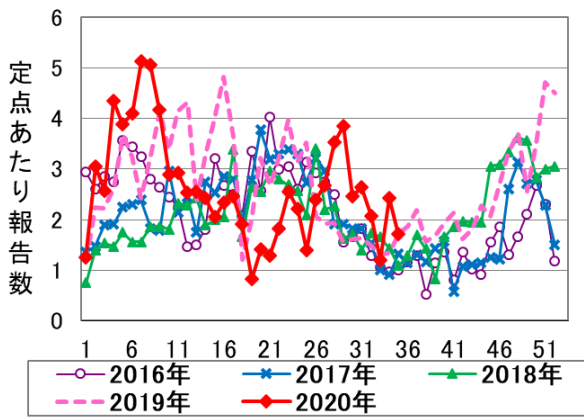
* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

《前週との比較》

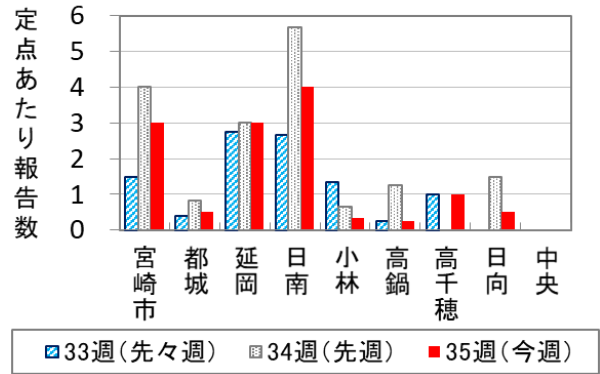


※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

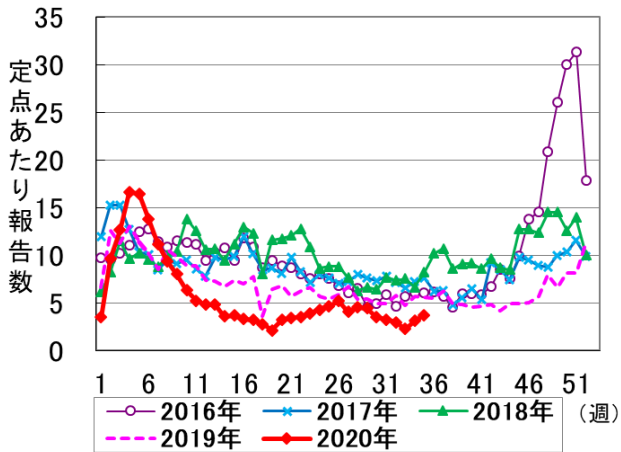
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



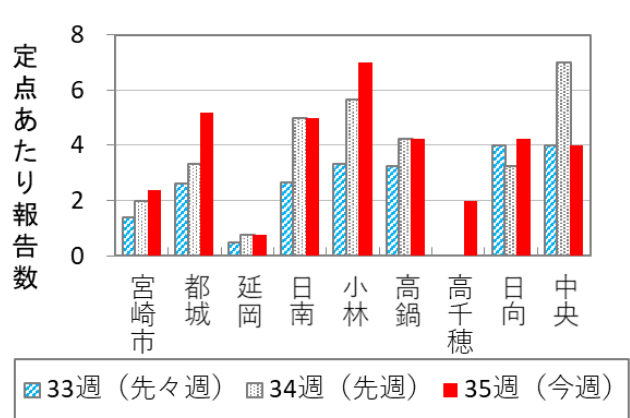
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 保健所別推移(3週分)



感染性胃腸炎 発生状況



感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ 報告なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★ なし。

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 令和2年8月31日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同定日
EPEC(O26:H11)	0~4歳	男	2020.8.3	胃腸炎(下痢)	便	2020.8.17
EHEC(O26:HUT VT1)	0~4歳	女	2020.8.7	胃腸炎(水様性下痢、血便)	便	2020.8.21
EHEC(O26:HNM VT1)	10歳代	女	2020.7.1	無症状	便	2020.7.10
EHEC(O26:H11 VT1)	10歳代	男	2020.7.5	胃腸炎(水様性下痢)	便	2020.7.27
EHEC(O26:H11 VT1)	80歳代	女	2020.7.5	胃腸炎(水様性下痢)	便	2020.7.14
Salmonella Stanley (O4:d:1,2)	0~4歳	女	2020.8.11	発熱(39.1℃)、胃腸炎(水様性下痢、嘔気、嘔吐、血便)	便	2020.8.21
Salmonella Bareilly(O7:y:1,5)	10歳代	男	2020.8.11	胃腸炎(水様性下痢、腹痛)	便	2020.8.18
EHEC(O26:H11 VT1)	10歳代	男	2020.8.17	発熱、胃腸炎(水様性下痢、血便、腹痛)	便	2020.8.28
EPEC(O145:HNM)	5~9歳	男	2020.8.20	発熱(38.0℃)、胃腸炎(水様性下痢、嘔気、嘔吐、腹痛)	便	2020.8.26
EHEC(O115:H10 VT1)	10歳代	男	2020.7.24	無症状	便	2020.8.11

腸管出血性大腸菌(EHEC)が6件分離された。腸管出血性大腸菌による感染症は、一般に気温の高い初夏から晩秋にかけて多く発生する。この時期は、細菌の増殖に適した気温であり、体力の低下や食品の不衛生な取扱いなどの条件が重なることで発生しやすくなるため、注意する必要がある。感染経路は経口感染で、100個程度の少ない菌数で感染し、免疫力の低い子どもや高齢者は重症化しやすい傾向にある。感染症の予防には、手洗い及び食品の衛生管理に十分注意することが重要である。

★ウイルス 報告なし。

🇯🇵 全国 2020 年第 34 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 34 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	269 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	114 例				
4類感染症	E型肝炎	2 例	重症熱性血小板減少症候群	2 例	日本紅斑熱	14 例
	マラリア	1 例	レジオネラ症	34 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	10 例	ウイルス性肝炎	3 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	37 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	2 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	13 例	後天性免疫不全症候群	14 例	ジアルジア症	1 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3 例	侵襲性肺炎球菌感染症	10 例	水痘(入院例)	5 例
	梅毒	56 例	播種性クリプトコックス症	3 例	破傷風	2 例
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	4 例	百日咳	10 例	風しん	2 例

※新型コロナウイルス感染症の全国の報告数について、現在、発生届の報告を新システム(新型コロナウイルス感染者等情報把握・管理支援システム(HER-SYS))へ移行中のため、移行が終了するまで掲載を控えさせていただきます。

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 148%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は感染性胃腸炎、手足口病及び流行性耳下腺炎で、減少した主な疾患は特になかった。

▲群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 1,664 人(0.5)で前週比 151%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.1)の約 0.5 倍であった。宮崎県(2.4)、福岡県(1.9)、山形県(1.5)からの報告が多く、年齢群別では 3 歳から 6 歳が全体の約半数を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は 1,295 人(0.4)で前週比 105%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.5)の約 0.3 倍であった。佐賀県(6.4)、熊本県(3.0)、福岡県(2.7)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 2 歳が全体の約 7 割を占めた。

* 過去 5 年間の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2020年 第35週(08月24日～08月30日)

疾病名		第34週	第35週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	9	5	2	3							
	定点当り	0.25	0.14	0.20	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	87	62	30	3	12	12	1	1	1	2	
	定点当り	2.42	1.72	3.00	0.50	3.00	4.00	0.33	0.25	1.00	0.50	0.00
感染性胃腸炎	報告数	112	134	24	31	3	15	21	17	2	17	4
	定点当り	3.11	3.72	2.40	5.17	0.75	5.00	7.00	4.25	2.00	4.25	4.00
水痘	報告数	5	2	2								
	定点当り	0.14	0.06	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	4	7	1	1		3				1	1
	定点当り	0.11	0.19	0.10	0.17	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.25	1.00
伝染性紅斑	報告数		2	1								1
	定点当り	0.00	0.06	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
突発性発しん	報告数	30	33	15	4	7	3	1	1	1	1	
	定点当り	0.83	0.92	1.50	0.67	1.75	1.00	0.33	0.25	1.00	0.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	41	22		11	4	5	2				
	定点当り	1.14	0.61	0.00	1.83	1.00	1.67	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	4	4		3	1						
	定点当り	0.11	0.11	0.00	0.50	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	6										
	定点当り	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2020年第1週～35週)

2類感染症	結核	116例(3)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	17例		
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	5例
	つつが虫病	7例	日本紅斑熱	4例(1)
5類感染症	アメーバ赤痢	5例	ウイルス性肝炎	1例
	急性脳炎	1例	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例
	後天性免疫不全症候群	4例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例
	水痘(入院例)	6例	梅毒	12例
	破傷風	3例	百日咳	37例
指定感染症	新型コロナウイルス感染症	358例(12)	重症熱性血小板減少症候群	3例
			レジオネラ症	6例
			カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1例
			劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6例
			侵襲性肺炎球菌感染症	9例
			播種性クリプトコックス症	2例
			薬剤耐性アシネトバクター感染症	1例

()内は今週届出分、再掲